

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	エンタメ療育スタジオRough&Diamonds		
○保護者評価実施期間	2024年 10月 8日		～ 2024年 10月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12名	(回答者数) 9名
○従業者評価実施期間	2024年 10月 8日		～ 2024年 10月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 9名
○訪問先施設評価実施期間	2024年 10月 8日		～ 2024年 10月 31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 11月 30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	エンタメ療育という独自プログラムにおける多様な支援方法	園や学校での困り感を細やかに担当者からヒアリングし、押しつけの教育から主体性を持った教育方法への転換療育という視点からエンパワメントとストレングスの多様性を担当者へ提案	現状最大月2回の訪問支援という上限がある中でも、よりさらに密に連携できる体制構築が必要。具体的には訪問以外でも連絡できる柔軟な体制構築を検討していく。
2	個別・小集団での支援と訪問先での集団生活との連動性	集団での困り感を、より円滑に解決していくべく解像度を上げた、個別・小集団での療育時の成功体験を共有し具体的な支援方法を担当者と協議している	適時訪問先と協議し、訪問先の担当者もいつでも療育現場を見学に来れる体制構築を目指す。
3	実務経験5年以上の訪問支援員の充実	訪問先の担当者もベテランであることが多く、より敬意を持って接するのは当然に、さらに同じ支援者の一人として認めてもらい連携して支援できるように人員の適正配置を工夫している。	訪問支援をスタートとしてまだ2年のため、今後も訪問先との信頼関係を築いていくとともに、支援員の専門性をさらに上げていくべく様々な研修に参加し観察力を養っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	充実した人員配置	訪問先からの様々なご要望に人員的に足らず応えられないケースがある。	実務経験の長いベテラン支援員を多く配置できるように既存業務の最適化を行うとともに、採用及び育成にも更に力を入れていく。
2	個々の支援員の訪問先への支援方法の提案力の差、及び関係性構築に向けたコミュニケーション力の差	訪問先担当者への配慮や伝達方法が至らず、確固たる協力体制を構築しきれていないケースがある。	療育力の向上だけでなく、サービス提供者として現場とのファシリテーション力や提案力と言ったビジネススキルの獲得に向けた研修に参加し能力向上に努めていく。
3			